

事業コード	03060503	政策コード	03	政策名	新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略				
事業名	未来につなぐ豊かな海づくり推進事業	施策コード	06	施策名	つくり育てる漁業と広域浜プランの推進による水産業の振興				
部局名	農林水産部	課室名	水産漁港課	班名	調整・振興班	(tel)	1885		
評価対象事業(計画)の内容									
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)				3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)					
<p>令和元年度に開催された「天皇陛下御即位記念 第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会」では、本県の水産物や魚食文化を県内外に発信する絶好の機会となった。これを契機として、県産水産物の認知度向上と品質の強化、安定生産・供給化の取組を一層推進し、更なる消費拡大とブランド力の強化を図り、漁業者の所得向上を実現することで、水産業を魅力ある産業として育成する。</p>				<p>地魚の消費拡大や高付加価値化の取組により、魚価が向上し漁業者所得の増大が図られる。また、漁業や水産物を核とする観光振興を推進することにより、漁村の活性化を目指す。</p>					
2. 住民ニーズの状況				4. 目的達成のための方法					
<p>ニーズを把握した対象 受益者 一般県民 (時期: H31 年 03 月)</p> <p>ニーズの把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の手法 (具体的に )</p> <p>ニーズの具体的内容 漁業者所得の向上のためには、魚価の高値安定が必要であり、地魚の消費拡大や高付加価値化に対する取組への期待が高まっている。</p>				<p>事業の実施主体 漁業者、漁業協同組合、食品事業者、県等</p> <p>事業の対象者・団体 漁業者、漁業協同組合、食品事業者、流通・販売業者、消費者</p> <p>達成のための手段 地魚の消費拡大を目的としたイベント等の開催や漁業者・食品事業者による鮮度保持、未・低利用魚の利活用などの取組を支援するとともに、漁港泊地を活用した蓄養殖試験を実施する。</p>					
把握していない場合の理由及び今後の方針				比較した代替手段及び選択した手段の有効性 漁業所得の向上のためには、地魚の需要増大や漁獲物の付加価値向上、安定供給化等、複数のアプローチがあり、これらを同時に展開し、魚種ごとに最適な販売戦略を練る必要がある。					
理由									
今後の方針									
5. 事業の全体計画及び財源									
順位	事業内訳	左の説明	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	全体(最終)計画
01	秋田の地魚消費拡大事業	地魚をテーマとしたイベント(地魚フェスティバル)の開催や、県内小売店等と連携した地魚普及キャンペーンなどを実施し、県産水産物の認知度を高め、消費拡大を図る。	2,813	2,813	2,813	2,813	2,813	0	14,065
02	ブランド水産物創出支援事業	水産物の高付加価値化や未・低利用資源の活用支援、漁業者や加工業者へのサポートを実施し、県産水産物のブランド化に向けた品質向上を図る。	6,685	6,685	6,685	6,685	6,685	0	33,425
03	秋田版もうかる蓄養殖推進事業	漁港内静穏域において、養殖用いかだを活用した蓄養殖試験を実施し、水産物の品質向上と安定供給化を図り、魚価の向上につなげる。	4,845	4,845	4,845	4,845	4,845	0	24,225
財源内訳		左の説明	14,343	14,343	14,343	14,343	14,343	0	71,715
国庫補助金			0	0	0	0	0	0	0
県債			0	0	0	0	0	0	0
その他		農林漁業振興臨時対策基金繰入金、労働保険料納付金	11,530	11,530	7	7	7	0	23,081
一般財源			2,813	2,813	14,336	14,336	14,336	0	48,634

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み									
指標	事業の期待される成果	本県水産物の需要増大や、高付加価値化が図られることにより、魚価の向上が期待される。							
	指標名	漁業者等による水産物高付加価値化等への取組							
指標式	漁業者や食品事業者による水産物高付加価値化等への取組件数								成果指標 業績指標
年度別の目標値(見込まれる成果による指標)									
指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度	
目標a			2	2	2	2	2	2	
実績b			データ等の出典						
東北			各年度事業実績報告書						
全国									
把握する時期		当該年度中 03月			翌年度 月	翌々年度 月			
指標名									指標の種類
指標式									成果指標 業績指標
年度別の目標値(見込まれる成果による指標)									
指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度	
目標a									
実績b			データ等の出典						
東北									
全国									
把握する時期		当該年度中 月			翌年度 月	翌々年度 月			
指標を設定することができない場合の効果の把握方法									
指標を設定することができない理由									
見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)									
事業の必要性									
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性									
本県水産物の産地価格の安定には、秋田をイメージする水産物のブランド確立と販路開拓、高付加価値化による品質向上や新たな加工品の開発・販売の推進が重要であり、漁業者や食品事業者が取り組む地魚の高付加価値化等への取組を支援することが必要である。									
住民ニーズに照らした事業の必要性									
漁業者の所得向上のため、地魚の需要拡大を促すイベントやキャンペーンの開催、鮮度保持や未・低利用資源の活用等の高付加価値化の取組の支援、漁獲物の安定出荷を目的とした蓄養殖の試験等を実施する必要がある。									
事業の県関与の必要性									
法令・条例上の義務			内部管理事務			県でなければ実施できないもの			
民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの									
県内外へ販路拡大に意欲的な事業者は増加しており、県内水産物を求める飲食店等とのマッチングの推進に当たっては、県関与によってスムーズな展開が期待できることから、県事業として実施する。									